

事業所名

えーゆーホーム

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

25 日

法人（事業所）理念		療育を必要とする児童に対して、日常生活における基本動作などの療育を行い、安心して家族・地域社会での生活が送れるように支援を行う。	
支援方針		日常生活における基本動作の習得及び、集団生活に適応することが出来るよう、発達の状況に応じて療育を行う。 療育方針について、本人・保護者の意向や発達状況・生活背景を交え、計画・実行を図る。 関係諸機関と情報共有を行い、必要に応じて支援会議などの連携を図る。	
営業時間		月曜～金曜 11：30 ～ 17：30 土曜 9：00 ～ 15：00	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	手洗いや食事、排泄など日常生活におけるスキルを一つ一つ身につけられるよう支援を行う。 その日の体調や様子に応じて柔軟に対応できるよう支援を行う。 日々のご家庭での生活をもとに、社会生活に必要なスキルを無理なく身につけられるよう支援を行う。	
	運動・感覚	感覚運動遊び・自由遊びを通じて、ボディイメージを獲得し身体感覚の醸成を通じて感情のコントロールを身につけられるよう支援を行う。 個々の感覚特性に応じ、安心して過ごせるように環境設定を行う。	
	認知・行動	個々の認知や感覚の感性を理解し、自らの気持ちが適切に表現できるよう児童にあわせたプログラムを提供する。 発達段階や個々の興味に応じた課題や活動を設定し、支援を行う。 活動の区切り（始まりと終わり）にはタイマーなどを活用し、時間の概念が身につけられるよう支援を行う。	
	言語コミュニケーション	集団遊びや自由遊びの時間を通じて円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるよう支援を行う。 要求や手伝ってほしい時に援助を求めるなど、自分の意思を伝えられるよう様々なツールを活用し、支援を行う。 相手の気持ちや言葉、表情などから意味を受け取ることができるよう支援を行う。	
	人間関係社会性	事業所内でのスケジュール感や集団で行動する際のルールや協調性を身につけられるよう支援を行う。 集団生活の中での周囲との距離感や関係性を理解したり、支援者との繋がり信頼できるという実感を持てるよう支援を行う。	
家族支援		ご家族の「こうなってほしい」という思いを尊重し、児童の意思決定支援を考える。家庭内での取り組みと事業所内での取り組みを連携を図る。	移行支援 幼保・こども園→小→中→高への移行時、担当会議への参加や支援情報の共有を行い連携を図る。
地域支援・地域連携		ご家庭に対して適切な支援が行えるよう、必要に応じて地域の関係機関と連携を図る。	職員の質の向上 ミーティングの中でケース事例検討、活動内容を話し合う。 児童の個々の成長や行動変化に対して対応方法を話し合い、実践する。 様々なツールを活用し、法廷研修を含め支援に必要な研修を行う。
主な行事等		季節に合わせた活動（外出、買い物学習）、避難訓練。	